

科目名	ブライダル業界研究 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) (必修)・選択
担当教官	金井 美香子 (実務経験 : 29 年 ブライダル司会・プロデュース業)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ブライダル業界の歴史をはじめ、現在の業界事情、これからの動向を研究しそれぞれの就職活動に役立てることを目的とする。 授業ではゼクシィなどのブライダル情報雑誌やフェア情報を取り入れ、現在のブライダル業界を見極め裾野が広いと言われる業界において、自分の進む進路の研究に繋がる配慮をしている。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1 ブライダル業界について① 2 ブライダル業界について② 3 コーディネーターに求められるもの 4 ニーズの変遷とプロデュースの歴史 5 米国と日本のブライダル慣習 6 会場、場所の特性 7 つ分類 7 専門式場 8 ホテル 9 ハウス 10 レストラン 11 フリースペース (レンタルスペース) 12 リゾート 13 海外 14 クルージング 15 まとめ
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活の中から、ブライダル業界・サービス業界に就くために、どんな人が求められるかを常に考え、何をしたら相手が喜んでくれるかを一番に考え行動することを習慣づける。
履修に 当たっての 留意点	現在の業界事情だけでなく、歴史の移り変わり、これからの動向をしっかりと研究させる。

科目名	ブライダル業界研究 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) (必修)・選択
担当教官	金井 美香子 (実務経験 : 29 年 ブライダル司会・プロデュース業)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ブライダル業界の歴史をはじめ、現在の業界事情、これからの動向を研究しそれぞれの就職活動に役立てることを目的とする。 授業ではゼクシィなどのブライダル情報雑誌やフェア情報を取り入れ、現在のブライダル業界を見極め裾野が広いと言われる業界において、自分の進む進路の研究に繋がる配慮をしている。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1 ホテルウェディング研究① 2 ホテルウェディング研究② 3 専門式場ウェディング研究① 4 専門式場ウェディング研究② 5 ハウス・レストランウェディング研究① 6 ハウス・レストランウェディング研究② 7 海外ウェディング研究① 8 海外ウェディング研究② 9 リゾートウェディング研究 10 企業別研究 (面接指導) その① 11 企業別研究 (面接指導) その② 12 企業別研究 (面接指導) その③ 13 企業別研究 (面接指導) その④ 14 企業別研究 (面接指導) その⑤ 15 企業別研究 (面接指導) その⑥
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活の中から、ブライダル業界・サービス業界に就くために、どんな人が求められるかを常に考え、何をしたら相手が喜んでくれるかを一番に考え行動することを習慣づける。
履修に 当たっての 留意点	現在の業界事情だけでなく、歴史の移り変わり、これからの動向をしっかりと研究させる。

科目名	ブライダル業界研究Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：29 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダル業界の歴史をはじめ、現在の業界事情、これからの動向を研究しそれぞれの就職活動に役立てることを目的とする。 授業ではゼクシィなどのブライダル情報雑誌やフェア情報を取り入れ、現在のブライダル業界を見極め裾野が広いと言われる業界において、自分の進む進路の研究に繋がる配慮をしている。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1 ブライダル産業 2 ブライダルマーケット 3 挙式、披露宴マーケット 4 ハネムーン(アフターブライダル)マーケット 5 新婚生活マーケット 6 演出商品研究その① 7 演出商品研究その② 8 演出商品研究その③ 9 アイテム研究その① 10 アイテム研究その② 11 アイテム研究その③ 12 企業研究その① 13 企業研究その② 14 企業研究その③ 15 まとめ
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活の中から、ブライダル業界・サービス業界に就くために、どんな人が求められるかを常に考え、何をしたら相手が喜んでくれるかを一番に考え行動することを習慣づける。
履修に 当たっての 留意点	現在の業界事情だけでなく、歴史の移り変わり、これからの動向をしっかりと研究させる。

科目名	ブライダル業界研究Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：29 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダル業界の歴史をはじめ、現在の業界事情、これからの動向を研究しそれぞれの就職活動に役立てることを目的とする。 授業ではゼクシィなどのブライダル情報雑誌やフェア情報を取り入れ、現在のブライダル業界を見極め裾野が広いと言われる業界において、自分の進む進路の研究に繋がる配慮をしている。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1 フォト・映像演出 研究 その① 2 フォト・映像演出 研究 その② 3 フォト・映像演出 研究 その③ 4 音響演出研究 その① 5 音響演出研究 その② 6 音響演出研究 その③ 7 ペーパーアイテム研究 その① 8 ペーパーアイテム研究 その② 9 ペーパーアイテム研究 その③ 10 希望企業研究まとめ ① 11 希望企業研究まとめ ② 12 希望企業研究まとめ ③ 13 希望企業研究まとめ ④ 14 発表 15 まとめ
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活の中から、ブライダル業界・サービス業界に就くために、どんな人が求められるかを常に考え、何をしたら相手が喜んでくれるかを一番に考え行動することを習慣づける。
履修に 当たっての 留意点	現在の業界事情だけでなく、歴史の移り変わり、これからの動向をしっかりと研究させる。

科目名	和装着付実習 I (前期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	天野 真由子 (実務経験：小林豊子きもの学院にて講師歴 10 年)	
学科・学年	ブライダル科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ブライダルに携わる学生たちが現場において、即座に着物を扱うことができ、なおかつ着物の知識を持ち得ることにより、速やかにその対応ができるようになることを目的とする。授業の方法としては、自分で着物を着れるようになる事を前提に、多様な帯結びを伝え実践してもらおう。(実習)加えて、基礎となる知識的な部分の講義を行う。	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 着付けのデモンストレーション 2. 着付け教材の使い方 長襦袢・着物のたたみ方 3. 着物の着方(前板まで) 4. 着物の着方(前板まで)復習 5. 蝶結び 6. 蝶結び(復習) 7. 貝の口 8. 貝の口(復習) 9. 蝶結び・貝の口(復習) 10. 着物の着方(復習) 11. 実技試験 12. 浴衣の着方・浴衣の講義 13. 片流し 14. 変り貝の口 15. 片流し・変り貝の口(復習) 	
使用テキスト ・教材等	小林豊子きもの学院教本 実技編・知識編	
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：着物の着方(裾合わせ、衿合わせ、所作等) 100点満点中60点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	各自授業でやったことを復習する。教本を見返しイメージトレーニングでもよい。	
履修に 当たっての 留意点	着物に興味を持つこと。集中力を持って実技に挑む。	

科目名	和装着付実習 I (後期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	天野 真由子 (実務経験：小林豊子きもの学院にて講師歴 10 年)	
学科・学年	ブライダル科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ブライダルに携わる学生たちが現場において、即座に着物を扱うことができ、なおかつ着物の知識を持ち得ることにより、速やかにその対応ができるようになることを目的とする。授業の方法としては、自分で着物を着れるようになる事を前提に、多様な帯結びを伝え実践してもらおう。(実習)加えて、基礎となる知識的な部分の講義を行う。	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 着物の着方(復習) 教材枕の使い方 2. 全通柄名古屋帯のお太鼓 3. 全通柄名古屋帯のお太鼓(復習) 4. お太鼓柄名古屋帯のお太鼓 5. お太鼓柄名古屋帯のお太鼓(復習) 6. お相手結び(名古屋帯のふくら雀とその変化) 7. お相手結び(名古屋帯のふくら雀とその変化) 8. お相手結び(袋帯のふくら雀) 9. お相手結び(袋帯のふくら雀) 10. 着物の着方・蝶結び又は貝の口(復習) 11. 実技試験 12. 講義(着物・帯の種類) 13. 講義(着物のマナー) 14. 袋帯の二重太鼓 15. 袋帯の二重太鼓(復習) 	
使用テキスト ・教材等	小林豊子きもの学院教本 実技編・知識編	
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：着物の着方(裾合わせ、衿合わせ、所作等)、帯結び(蝶結び又は貝の口)、制限時間 10 分 100 点満点中 60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	各自授業でやったことを復習する。教本を見返しイメージトレーニングでもよい。	
履修に 当たっての 留意点	着物に興味を持つこと。集中力を持って実技に挑む。	

科目名	ドレスコーディネート（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	安東志寿（実務経験：(有)エクボにて、ブライダル業務に 19 年間携わる）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>婚礼衣装の基礎知識を学び、歴史や由来を知ることによって知識の質の向上を目的とし、繊細な衣装やブライダルアイテムの扱い方から、物の大切さを感じ取れるようにする。衣装を試着することで結婚式への想いを感じとり、コーディネーター・プランナーとしての発展につなげることを目的とする。（講義）</p> <p>様々な希望に対応出来るよう、ヘアメイクを行いドレスを試着し新郎新婦役を体験する事で、それぞれに合った提案が出来るよう配慮している。（実習）</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 和装の種類について 2. 打掛の文様の意味 3. ドレスの調達方法について（メリット、デメリット） 4. 新婦のブライダルアイテムの種類・由来について（ベール、グローブ、ヘッドドレス等） 5. 新郎の洋装アイテムの種類・由来について 6. 体型別ドレスの選び方や試着の方法について 7. ドレスの扱い方 8. ウェディングドレス試着①（グループになり、順次試着、アテンドをおこなう） 9. ウェディングドレス試着② 10. ウェディングドレス試着③ 11. ウェディングドレス試着④ 12. ウェディングドレス試着⑤ 13. ウェディングドレス試着⑥ 14. ウェディングドレス試着⑦ 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	授業時に配布する資料。 学校にある婚礼衣装、ブライダルアイテム
成績評価方法 及び 基準	筆記試験による評価とし、100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ブライダルに関する情報をマスメディアなどからも習得し流行りなども意識すること。
履修に 当たっての 留意点	ブライダル業界に進む者としての意識を持ち、衣装に関する提案や新郎新婦の望む想いが理解できるように知識だけでなく相手の気持ちを考える事。

科目名	ドレスコーディネート（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・選択
担当教官	安東志寿（実務経験：(有)エクボにて、ブライダル業務に 19 年間携わる）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>前期に学んだ事を含め、季節やパーソナルカラー等、色を使ったコーディネートを考え、知識の質の向上を目的とし、TPO に合わせたドレスコードを学んでいく。繊細な衣装やブライダルアイテムの扱い方から、物の大切さを感じ取れるようにする。（講義）</p> <p>衣装を試着することで結婚式への想いを感じとり、コーディネーター・プランナーとしての発展につなげることを目的とする。</p> <p>ドレスを試着し新郎新婦役を体験する事で、それぞれの要望に応じた提案が出来るよう配慮している。（実習）</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ドレスコードについて①（主催者側） 2. ドレスコードについて②（ゲスト側） 3. 着物の種類、特徴について（留袖・訪問着・振袖等） 4. ブーケとドレスの組み合わせ（形、色あわせ） 5. 世界の婚礼衣装について 6. カラードレスの選び方について（パーソナルカラーや季節の色等） 7. カラードレス試着①（グループになり順次試着、アテンドを行う） 8. カクテルドレス試着② 9. カクテルドレス試着③ 10. カクテルドレス試着④ 11. カクテルドレス試着⑤ 12. カクテルドレス試着⑥ 13. カクテルドレス試着⑦ 14. まとめ 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	授業時に配布する資料。 学校にある婚礼衣装、ブライダルアイテム
成績評価方法 及び 基準	筆記試験による評価とし、100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ブライダルに関する情報をマスメディアなどからも習得し流行りなども意識すること。
履修に 当たっての 留意点	ブライダル業界に進む者としての意識を持ち、衣装に関する提案や新郎新婦の望む想いが理解できるように知識だけでなく相手の気持ちを考える事。

科目名	ブライダル実習 I (前期 60 時間 (90 分/コマ)) (必修)・選択
担当教官	金井 美香子 (実務経験 : 29 年 ブライダル司会・プロデュース業)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	人前結婚式の成り立ちを学び実習を通して結婚式の基礎・基本を身につける。 学びの成果を発表する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1 人前結婚式の成り立ち① 2 人前結婚式の成り立ち② 3 新郎新婦スタイリング 4 入場準備・確認(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 5 迎賓(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 6 新郎新婦入場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 7 新郎新婦紹介(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 8 結婚証明書署名(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 9 結婚指輪交換(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 10 成婚宣言(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 11 新郎新婦退場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 12 シュミレーション① 13 シュミレーション② 14 発表会 15 フィードバック
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	発表会にて 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活において業界が求めるマインドづくりをする。
履修に 当たっての 留意点	技術や知識だけではなく結婚式への想いを向上させる。

科目名	ブライダル実習 I (後期 60 時間 (90 分/コマ)) (必修)・選択
担当教官	金井 美香子 (実務経験 : 29 年 ブライダル司会・プロデュース業)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	人前結婚式の成り立ちを学び実習を通して結婚式の基礎・基本を身につける。 基礎・基本の心を応用して新しい演出に挑戦する。 学びの成果を発表する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1 前期の復習 2 演出企画 3 新郎新婦スタイリング 4 入場準備・確認(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 5 迎賓(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 6 新郎新婦入場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 7 新郎新婦紹介(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 8 結婚証明書署名(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 9 結婚指輪交換(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 10 成婚宣言(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 11 新郎新婦退場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 12 シュミレーション① 13 シュミレーション② 14 発表会 15 フィードバック
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	発表会にて 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活において業界が求めるマインドづくりをする。
履修に 当たっての 留意点	技術や知識だけではなく結婚式への想いを向上させる。

科目名	ブライダル実習Ⅱ（前期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：29 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	1 年次に学び身につけた人前結婚式の基礎・基本をより深く研究し自身のスキルアップに繋げる。 学びの成果を発表する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1 人前結婚式の成り立ちⅡ① 2 人前結婚式の成り立ちⅡ② 3 新郎新婦スタイリング 4 入場準備・確認(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 5 迎賓(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 6 新郎新婦入場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 7 新郎新婦紹介(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 8 結婚証明書署名(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 9 結婚指輪交換(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 10 成婚宣言(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 11 新郎新婦退場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 12 シミュレーション① 13 シミュレーション② 14 発表会 15 フィードバック
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	発表会にて 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活において業界が求めるマインドづくりをする。
履修に 当たっての 留意点	技術や知識だけではなく結婚式への想いを向上させる。

科目名	ブライダル実習Ⅱ（後期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：29 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	1 年次に学び身につけた人前結婚式の基礎・基本をより深く研究し自身のスキルアップに繋げる。 自ら企画演出を行い結婚式を創り上げる。 学びの成果を発表する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1 演出企画Ⅱ① 2 演出企画Ⅱ② 3 新郎新婦スタイリング 4 入場準備・確認(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 5 迎賓(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 6 新郎新婦入場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 7 新郎新婦紹介(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 8 結婚証明書署名(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 9 結婚指輪交換(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 10 成婚宣言(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 11 新郎新婦退場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 12 シミュレーション① 13 シミュレーション② 14 発表会 15 フィードバック
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	発表会にて 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活において業界が求めるマインドづくりをする。
履修に 当たっての 留意点	技術や知識だけではなく結婚式への想いを向上させる。